

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

大手前通り周辺地区(第2期)

令和元年12月

島根県 松江市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	窓門橋通りの歩行者数	人	1,716	1,802	1,790	確定	●	△	あり	●	2,041	R元年9月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	(市)北田大手前線の高質化を図ったことにより、周辺の歴史的町並みと調和した道路空間が創出され、歩行者数が目標値を大きく上回った。
						見込み			なし							
指標2	地区内主要道路のバリアフリー整備率	%	36.9	66.5	66.5	確定	●	○	あり						☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	市道の歩道のフラット化及び幹線道路となる(都)城山北公園線の竣工により、目標値の66.5%を達成した。
						見込み			なし							
指標3	道路・水路・公園等の満足度	%	33	51	71	確定	●	○	あり						☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	歩道のフラット化・拡幅及び側溝の整備等により、歩行する際の安全性が増し、歩行環境が改善されたことが評価され、満足度が上昇した。
						見込み			なし							
指標4						確定			あり						☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み			理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	松江歴史館の来場者数	人	168,795		193,921	確定	●				H 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	歩行環境の向上と松江城天守の国宝指定による来場者数の増。
その他の数値指標2	ホーランエンヤ伝承館の来場者数	人	4,148		8,338	確定	●				H 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	歩行環境の向上と松江城天守の国宝指定による来場者数の増。
その他の数値指標3						確定					H 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	中心市街地の賑わいの継続	松江歴史館で不味流不味会によるお茶会の開催や、県外出店者を交えたマルシェなどのイベント等を開催した。	各種イベント等に多くの来街者があり、まちの賑わいの創出につながった。	今後も引き続き、地元住民、商店街、行政が連携をとりながら、中心市街地の活性化に取り組む。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	公園広場、避難路の確保	公園事業の舟つきの松公園については、住民訴訟が提起されたため整備を中断したが、住民訴訟の判決を踏まえ、今後の整備方針を検討することとした。	今後の整備方針について、財源を踏まえた事業内容を再度検討している。	財源の確保と地元住民との調整を図りながら、公園整備に取り組んでいく。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)
大手前通り周辺地区(第2期)

しまねけん まつえし
島根県 松江市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	しまねけん 島根県		市町村名	まつえし 松江市		地区名	おおてまえ だお しゅうへん ちく たい き 大手前通り周辺地区(第2期)			面積	63.0 ha		
計画期間	平成	25	年度 ～	平成	29	年度	交付期間	平成	25	年度 ～	平成	29	年度

目標

大目標:暮らす人も訪れる人も安心快適な、住んでよし、訪れてよしのまちづくり

目標1 歴史や文化に触れ合えるまちづくりを進め、地域コミュニティーの向上を図る。

目標2 来街者にとって快適な歩行空間を確保し、回遊性の向上を図る。

目標3 生活に身近な道路・水路・公園等を整備し、安心・安全で快適な生活環境の向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【歴史的経緯】

○当地区は、堀尾吉晴公により「城下町松江」のまちづくりが始まり1611年に松江城の城下町として整えられた。江戸期は町人、武士の居住地となっていたが、明治以降は歴史的風情を残す街並みや水辺景観を保ちながら、官公庁や学校、図書館、病院などが立地し商店街も形成された。また地区東側の米子町、南田町は閑静な住宅地になるなど、中心市街地の中核となっていくた。

【地区の現況】

○近年は中心市街地の居住人口の減少と高齢化割合が進んできている。また核店舗の地区外移転に伴う商店街の空洞舗化や平置き駐車場など低未利用地の増加するなど地区の空洞化も進行している。このような背景のもと中心市街地の活性化を目指して、再開発事業や総合病院の現地建て替え事業、また郷土の歴史文化を展示する松江歴史館やホーランエンヤ伝承館の建設を行うなど都市機能の充実と魅力ある観光地づくりを進めている。

【まちづくりの取り組みと機運】

○当地区内の東西軸となる(街)城山北公園線(大手前通り)の整備を島根県が進めており、これを機会に松江市固有の歴史的景観と調和のとれた道路にしようと「大手前通りみちづくり協議会」が組織された。また周辺の殿町、母衣町、米子町、南田町地区においては、住民生活の視点から住みよい地域の環境づくりを進めて行こうと各地区で「まちづくりを考える会」が組織されるなど地区内のまちづくりへの住民関心は高い。

○江戸時代の藩主が休憩に立ち寄る舟つき場や樹齢300年の傘松があった由緒ある箇所を復活させるため、地域住民が「舟つきの松跡地整備を考える会」を立ち上げ、歴史・文化に触れ合え地域コミュニティのシンボルとなり、また災害時の一時避難にもなる公園にしていこうと積極的な討議が続けられている。

【上位計画との適合】

○平成20年度に認定された「松江市中心市街地活性化基本計画」では、当該地区の全域を中心市街地の区域内として各種施策が計画され、平成20年度から24年度までの市街地再開発事業、道路、ポケットパーク等の公共の用に供する施設の整備やその他の市街地の整備改善のための事業に関する内容が具体的事業として記載されている。本計画は引き続き平成25年度から平成29年度までの整備改善計画を策定している。また、歴史的風致の維持及び向上に関する計画として「松江市歴史的風致維持向上計画」を平成23年2月に定め、歴史と伝統ある文化的な景観の保護や維持継承を進めている。

【住民との合意形成・官民連携】

○第1期(H19年～H24)の計画策定にあたり、大手前通り沿線の住民を対象にアンケートの実施や各町内会等に整備計画を提示し合意形成を図った。事業期間終了年度には地元関係組織と意見交換を行い、事後評価内容を反映した第2期の整備計画策定を行うなど住民意見の整合と官民連携を図っている。

課題

【課題1】歴史と文化に触れ合え、憩いと地域コミュニティがとれる施設・公園・広場等が整備されていない。

中心市街地には歴史・文化と触れ合える施設・公園・広場等が少なく、憩いや地域コミュニティのとれる場が整備されていない。

【課題2】観光集客施設周辺、総合病院周辺や住宅地域内は、快適で安全な歩行空間が確保がされていない。

地区北西部に整備された観光集客施設(松江歴史館、ホーランエンヤ伝承館)周辺や地区南部に改築された総合病院(松江赤十字病院)周辺、地区東部の住宅地域内は、歩道が狭小なうえ車庫等の出入りで切下げたアップダウンが多く、高齢者や来街者にとって安全な歩行環境が確保されていない。また地区内の東西方向の基幹道路となる(街)城山北公園線が整備中なため地区内の回遊性が確保されていない。

【課題3】住宅地域内の身近な道路・水路・公園等が未整備で、安心・安全の生活環境が確保されていない。

生活道路は開渠側溝が多く、歩行者は危険なうえ排水が悪く雨天時には住宅地域内が滞水する。また、災害時に一時避難する公園広場等やの避難路が確保されていない。

将来ビジョン(中長期)

○松江市総合計画(H24.4)……………中心市街地における目指すべき市民生活は、居住環境改善によるまちなか居住と商店地毎の特色あるまちづくりの推進を挙げている。

○松江市都市マスタープラン(H20.3)……………本地区を都市機能の集積した「中央地域」に位置付けており、「安全で快適な歩行環境の整備に努め、歩いて暮らせるまちづくり」を基本的方針のひとつとしている。

○松江市中心市街地活性化基本計画(H20.7)……中心市街地に対し、「まちなか居住」、「近隣集客拠点」、「観光・交流」の3つのコンセプトで施策を展開し、「住んでよし、訪れてよしの“松江らしい”まちづくり」を目指すこととしている。

○松江市歴史的風致維持向上計画(H23.2)……本地区を旧城下町エリア重点地区として、文化財の保存や活用、また周辺環境の保全に関する具体的な計画を定め、松江らしい歴史的風致を向上させていくこととしている。

○松江市景観計画(H19.3)……………地区の一部を「普門院外濠地区」、「城山内濠地区」として後世の市民に継承されるべき伝統美観を保存すべき区域(伝統美観保存区域)に指定している。

○松江市住宅マスタープラン(H19.3)……………「定住人口の増加をめざす住まいづくり」、「まちなか居住の推進」として、中心市街地の居住者を増やすための住宅施策を挙げている。

○松江市観光白書(H21.3)……………観光入れ込み客数1,000万人を目指し松江ならではの魅了のレベルアップとして、水の都松江らしい質の高い文化観光体験の提供を行うとともに、松江歴史館、ホーランエンヤ伝承館等を整備することで松江城や武家屋敷数と連携したまち歩き観光の推進等を挙げている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
惣門橋通りの歩行者数	人	北田大手前線（惣門橋通り）における平日（1日）と休日（1日）を合わせた歩行者通行量	地区北部と中心部間の観光客等の往来者の5%増を目指す。	1,716	H24年度	1,802	H29年度
地区内主要道路のバリアフリー整備率	%	地区内の主要な県道・市道の歩道の段差、幅員、勾配についての整備率	地区内の主要路線についてバリアフリー整備率の80%増を目指す。	36.9	H24年度	66.5	H29年度
道路・水路・公園等の満足度	%	地区内居住者の道路・水路・公園等の安全性や整備状況の満足度アンケート	「とても満足している」「満足している」割合を51%とすることを目指す。	33	H24年度	51	H29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	
【整備方針1】 歴史や文化に触れ合えるまちづくり ・歴史・文化と触れ合える観光集客施設の周辺道路や歴史資源を残す住宅地域内の道路を、安心・安全に回遊できるよう歩行空間を整備する。 ・高齢者から子供へ歴史文化を継承するとともに、世代を超えた交流促進ができるようレクリエーション機能を持つ公園の整備を推進する。 ・地域コミュニティの向上に繋がる公園等の愛護活動を促進するとともに、地域の歴史文化を伝え、往来者の休憩場や身近な語らいの場となるポケットパークや公園の整備を推進する。 ・文化観光施設のガーデンテラスの屋根を整備し、イベントの開催等を通じて観光客・市民の誘客と中心市街地のにぎわい創出を図る。 ・各町のまちづくりを考える会の活動の継続を支援する。 ・行政と住民との情報の共有化を図り、官民一体のまちづくりを推進する。	方針に合致する主要な事業 道路（基幹事業／(市)北田大手前線、(市)母衣町大橋川線、(市)母衣町南北線、(市)南田南北線、(市)北田大橋線、(市)南田9号線、(市)南田11号線） 高質空間形成【緑化施設等】（基幹事業／(市)北田大手前線、(市)母衣町大橋川線、(市)南田9号線 公園（基幹事業/舟つきの松公園） 関連事業／(城山北公園線都市計画街路事業、ポケットパーク整備事業、堀尾吉晴公銅像建設事業、カラコロ工房整備事業）
【整備方針2】 快適な歩行空間の整備 ・中心市街地の交通の円滑化、東西連絡強化、防災拠点施設や避難場所を結ぶ緊急輸送路確保、並びに地区内の東西を結ぶ安全で快適な歩行空間の確保のため、都市計画街路を整備する。 ・観光集客施設周辺道路や総合病院周辺道路のバリアフリー化を進め、歩行者の安心性・安全性を向上させると伴に来街者が快適で満足する質の高い歩行空間を整備する。 ・老朽化した水路を蓋付の水路に整備することで住民や来街者の快適性、安全性を確保すると伴に、地域生活に影響をきたさないよう住宅地域内の雨水整備を行う。	道路（基幹事業／(市)北田大手前線、(市)母衣町大橋川線、(市)母衣町南北線、(市)南田南北線、(市)北田大橋線、(市)南田9号線、(市)南田11号線） 高質空間形成【緑化施設等】（基幹事業／(市)北田大手前線、(市)母衣町大橋川線、(市)南田9号線 提案事業【地域創造支援】/末次排水区下水道（雨水）事業 関連事業／(城山北公園線都市計画街路事業、南田町雨水事業）
【整備方針3】 生活に身近な道路・水路・公園等の整備 ・都市計画街路の整備に伴い、来街者がまち歩きの中で休憩できるポケットパークを整備する。 ・災害時の住宅地域からの避難路を確保するとともに、一時的に避難ができる公園の整備を推進する。 ・住宅地域内において、安心安全に歩いて暮らせるまちを目指した道路整備を行う。 ・安心して暮らせる生活住整備のため、大雨時の排水対策として水路や雨水整備を行う。	道路（基幹事業／(市)北田大手前線、(市)母衣町大橋川線、(市)母衣町南北線、(市)南田南北線、(市)北田大橋線、(市)南田9号線、(市)南田11号線） 高質空間形成【緑化施設等】（基幹事業／(市)北田大手前線、(市)母衣町大橋川線、(市)南田9号線 公園（基幹事業/舟つきの松公園） 提案事業【地域創造支援】/末次排水区下水道（雨水）事業 関連事業／(ポケットパーク整備事業、南田町雨水事業）
その他 【第1期事業完了後のまちづくり活動、まちづくり組織の設置】 ○第1期計画完了時には大手前通り沿道の各町内会等関係組織と事後評価の意見交換を行った。引き続き各町内のまちづくり及び大手前通り沿道全体を通しての賑わい創出を目指して活動していく。 ○「舟つきの松跡地整備を考える会」が行政の窓口役となり整備方針や維持管理等について討議を行い、歴史・文化の継承や地域コミュニティの推進についての活動も本会を通じて協議していく。 【維持管理形態】 ○本計画で整備する施設のうち、ポケットパークや公園については地区住民との協働により維持管理（愛護活動）を行う。 【事業執行体制】 ○庁内においては、計画の取りまとめ担当課で事業間連携・工程管理を目的とした連絡調整会議を開催する。また、地域内においては各町内会等関係組織が行政との窓口役を担い地区住民との意見調整を行っていく。 【整備計画広報】 ○地域と住民との情報共有を図り、官民一体のまちづくりを推進するため、定期的に機関誌「大手前通りみちだより」を発行し整備状況等を広報する。	

交付対象事業費	346.3	交付限度額	155.8	国費率	0.45
---------	-------	-------	-------	-----	------

基幹事業	2024年度 10月 27日
------	----------------

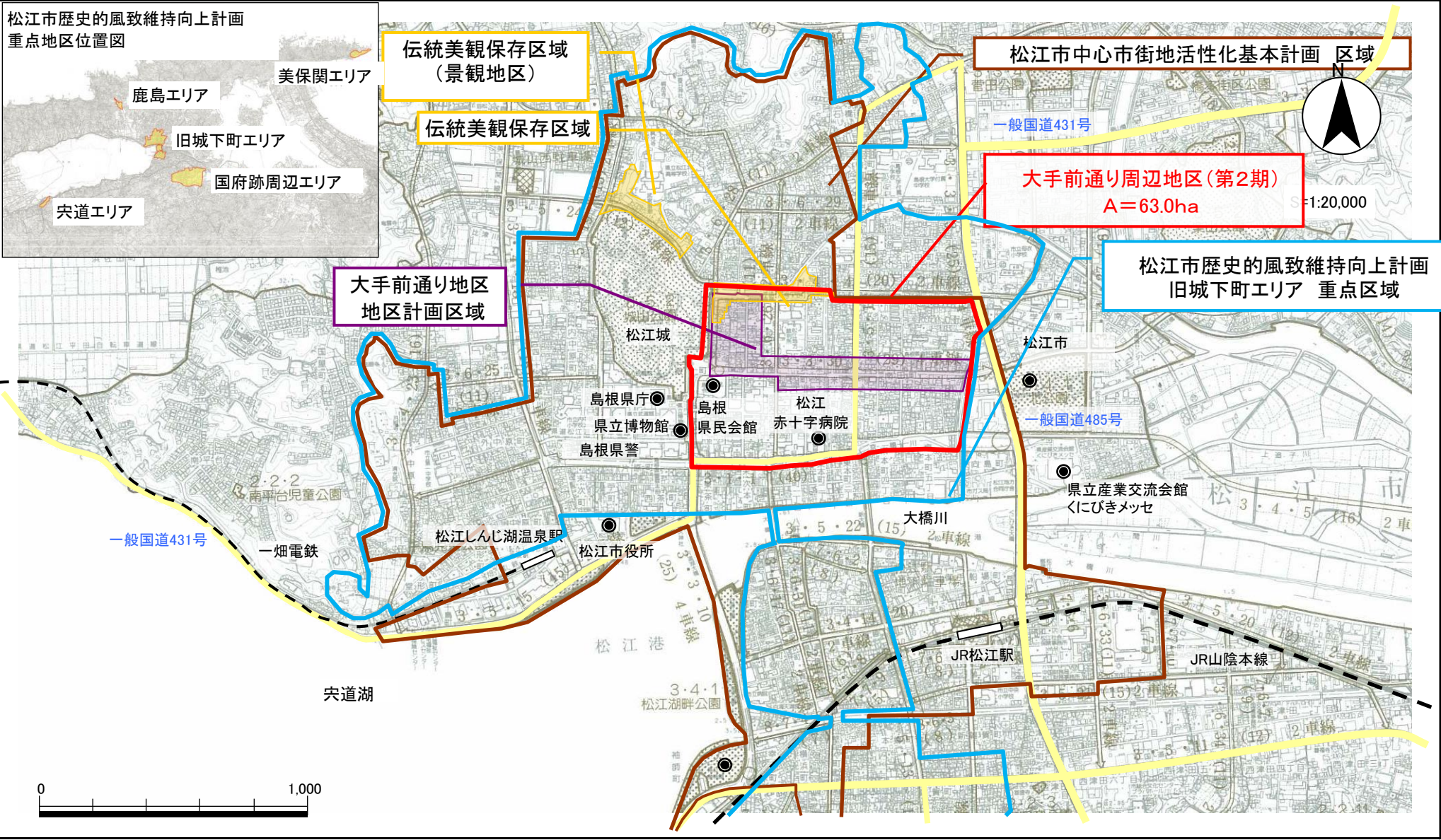
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付対象事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	末次排水区下水道(雨水)事業	母衣町、南田町	松江市	直	L=344.2m	24	28	25	28	52.9	36.9	36.9		36.9
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業														
合計										52.9	36.9	36.9	0.0	36.9

[illegible]

都市再生整備計画の区域

おおてまえどおりしゅうへんちく だい き しまねけんまつえし
大手前通り周辺地区(第2期) (島根県松江市)

面積 63.0 ha 場所 松江市殿町ほか



大手前通り周辺地区(第2期)(島根県松江市) 整備方針概要図

